

平成28年5月30日
国土交通省九州地方整備局
遠賀川河川事務所

九州初！想定最大規模の洪水浸水想定区域図等を公表しました。

平成27年5月に水防法が改正され、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、想定最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域等を新たに作成し公表しました。

今回、遠賀川河川事務所では、遠賀川（直轄（国）管理区間）の洪水浸水想定区域を、出水期前の5月30日に指定し、公表するものです。

洪水浸水想定区域等をご覧になるには、遠賀川河川事務所防災情報課において縦覧しているほか、事務所のホームページ（<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/disaster/index.html>）で公表しておりますのでご参照下さい。

【今回、新たに公表する図面】

- ・洪水浸水想定区域図（想定最大規模、計画規模）
- ・洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）
- ・洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸侵食））

洪水浸水想定区域とは、水防法第14条第1項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。

【効果】

今回の公表では、想定し得る最大規模の洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域も公表しています。これらの情報により、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取り組みが進むことが期待されます。

洪水浸水想定区域等は、浸水区域に含まれる市町村に通知され、当該市町村は今後、「早期の立退き避難が必要な区域」を示した洪水ハザードマップを作成することとなります。

【問合せ先】

国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所
福岡県直方市溝堀1丁目1-1（電話：0949-22-1830（代表））
技術副所長 三浦 錠二（内線205）
防災情報課長 小野 朋次（内線281）

【同時発表記者クラブ】 ■北九州地区、■直方地区、■飯塚地区、■田川地区